

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 急性冠症候群症例における下肢閉塞性動脈硬化症合併に関してのリポプロテインa値の重要性に関する研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 シニア・レジデント 岡 洋佑

【研究の目的】

リポプロテインa値は動脈硬化性疾患のリスク因子であることが知られています。しかしながら、急性冠症候群の症例のうち、閉塞性動脈硬化症の有無および重症度に対する影響に関しては不明な点が多くあります。そこで、東邦大学医療センター大森病院循環器内科では、リポプロテインa値と閉塞性動脈硬化症の関連性を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、今後の閉塞性動脈硬化症のリスク因子に対しての治療介入に関する新たな知見につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年4月～2020年12月までに東邦大学医療センター病院循環器内科において、急性冠症候群に対してカテーテル治療を受けた方を対象とし、診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、イベントは発生状況、個人情報 等

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはできません。

【利益相反について】

本研究に関しての利益相反に絡む医療情報の調査や得られたデータの解析などは、複数の医局員が担当しており、研究実施担当者が合議で進め、互いにチェックしあう体制を構成しています。この手順により企業との利益相反を回避し、結果公表のバイアスを防止するとともに、成果の客観性を保つよう配慮しています。なお、池田隆徳教授には利益相反がありますが、本研究のデータ内容およびデータ解析には関与しないため利益相反は回避しうるものと考えます。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 循環器内科

職位・氏名 シニア・レジデント 岡 洋佑

電話 03-3762-4151 内線 6545